

れんごう中越地協

第1160号2024.3.5
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人 矢島 良彦
http://tyuuetu.net/

定価 1部10円
購読料は会費に含む



連合中越第97回地協委員会を開催 春季生活闘争方針の学習会も

連合中越地協第97回地協委員会が、2月8日(木)午後6時から長岡市立劇場大会議室で開催されました。

地協委員会では前段に「連合新潟2024春季生活闘争方針」の学習会を行い、遠藤連合新潟副事務局長から方針の説明を受けました。今年の春季生活闘争のスローガン「みんなで賃上げステージを変えよう！」について意義と基本スタンス、取り組みに向けた基盤整備などを説明。特に賃金上昇分の価格転嫁の取り



組みの重要性について説明がありました。次に賃金要求の具体的要求目標や位置づけ等を説明。中小組合の取り組みでは、規模間格差是正、雇用形態間格差是正、男女間格差是正なども説明。長時間労働の是正では、年次有給休暇取得促進の取り組みや、フリーランスなどあいまいな雇用で働く人を含めた、すべての労働者の立場にたった働き方の改善等の方針全般の説明がありました。

部門連絡会を4年ぶりに開催 春闘山場に向けて情報交換

(JAM新潟)を議長に選出して進行。開会のあいさつで矢島議長は、能登半島地震の被害にふれた後、「今年の春闘は昨年以上に賃上げが求められる。ただ物価が上がっているから賃上げを求めるだけではない。生産性3原則に則り、労働者への適正な配分を求める立場で臨む必要がある。そのために連合を活用して理論武装してほしい。地協も5年ぶりに部門連絡会を開催し情報交換を行う。地区総決起集会や、中小地場総決起

集会も開催する。組織全体で賃上げのムードを作っていく」と述べました。次に、横澤事務局長が10月以降の主要な活動を報告し承認。構成組織からの報告事項として新教組から教員の働き方改革についてと私鉄総連越後交通労組から交通運輸関係の労働時間規制について報告があり、全体で課題を共有しました。

続いて審議予定事項では春季生活闘争関係、メンバー関係等を提案し決定しました。地協委員会の最後に矢島議長の首頭で団結カンパロウを行い、春闘勝利に向け決意を固めました。

連合中越地協は、中小共闘センターを発足させ、2月21日(水)午後6時20分から社会福祉センタートモシアと魚藤で、民間部門、医療部門、公務部門の部門連絡会を4年ぶりに開催しました。

この挨拶がありました。各労組からは、事前調査表をもとに、組織構成ポイント、年次有給休暇取得状況、組合行事への参加実態、定年延長などの報告があり、その後意見交換が行われました。

医療部門連絡会は、当日の欠席等もあり、飯田幹事と連合新潟川上副事務局長の二人で医療職場

民間部門連絡会では、野田副議長が座長を務め、10構成組織15組合から32名が参加しました。最初に、矢島議長が「賃上げに向けて組合員の期待も大きい。しっかり情報交換し、交渉に生かしていきたい」といった挨拶を述べました。また、連合新潟遠藤副事務局長からは「各労組の声を受け、要請行動に反映したい」



の事態を新副事務局長に伝える場となりました。また、公務部門連絡会は、清水事務局次長を座長に、2構成組織4組合から11名に加え、連合新潟戸根副事務局長が参加し、職場の実態や春闘の取り組みなどを話し合いました。

追いついた。医療部門では飯田幹事から「医療は診療報酬という公定価格のため、価格転嫁できない」など、医療職場の厳しい実態が報告されました。公務部門では清水事務局次長が「民間に賃上げを頑張してほしい。若い人たちに労働組合の必要性をしっかりと伝えていく重要性を話し合った」と報告がありました。



その後、第一部で足りなかつた様々な情報が交換され、五十嵐副議長の閉会あいさつに続いて、矢島議長の団結カンパロウで春闘に臨む心合わせがなされました。

みんなで賃上げ。 ステージを変えよう!

3月30日(土)13時30分～連合新潟中小・地場総決起集会
会場 ニューオータニ長岡NCホール デモ行進も

3月となり春到来の季節となりました。この冬は雪も少なく比較的過ごしやすいた冬となりました。暖かくなると雪崩等の危険もありますので、ご注意いただき、ご家族含め健やかにお過ごしいただければと思います。私が感じていることは、ここ数年「カタカナ語」・「横文字」が多くなったことです。それ自体は昔からありましたが、特に新型コロナウイルス以降、急激に増えニュースや政治・芸能・ビジネスで頻りに耳にします。耳なじみのない言葉が多く、連続して使われると話を理解することが困難だと感じます。過去に防衛相も当時ツイッターで「クラスターII集団感染、オーバースhootII感染爆発、ロックダウンII都市閉鎖」ではダメなのか。なんでカタカナ?と投稿し24万いいねを記録しており当時話題となりました。カタカナ語ばかりで分かりにくいという意見が多い中でも、なぜ使われるのかといういくつか理由があるようです。理由の一つ目が「日本語で正確に表すのが難しい」ことです。これは、専門性の高い分野では、昔からカタカナ語をはじめとする、特殊な言葉が多く使われており、日本語

副議長 渡辺将史
あたご3 <<No95>>
に置き換えると補足説明が必要になるそうです。例えば、感染症禍でよく聞いた「クラスター」という言葉は、「集団感染」と訳されますが、正確には「5人以上の集団で共通の感染源を持つこと」という意味を持つっており、これを簡潔に伝えるために、あえてそのまま使っているそうです。2つ目は、漢字に訳すことで、不安や恐怖心をあおられることを和らげるためです。例えば、「都市封鎖」の「封鎖」や「感染爆発」の「爆発」は単体でも物騒に聞こえてしまうことから、表現を柔らかくするために使用しているといわれています。3つ目は、初めて聞く言葉を使うことで聞く人の注目を集めやすくするためといわれています。最近では漢字や仮名で書くべき言葉をカタカナで表現することが多くなっていることも聞きます。初めて聞く言葉は意味を調べ、自身の知見として留め、流行に乗って言葉を用いないことが重要だと思います。言語は時代とともに移り変わっていくものではありますが、いまある言語を残し、伝えていくことも、日本の文化を守ることに繋がっていくのだと私は考えます。

SJネット委員会
第3回委員会を開催
SJネット委員会は、第3回委員会を2月16日(金)18時30分から地協事務所で開催しました。委員会では、中山委員長が職場の異動で長岡を離れることとなったため、後任について話し合い、権頭委員(基幹労連)を委員長に選出しました。次に4月に開催を予定している、ユニオンパワーアップセミナーについて話し合い、能登半島地震



ながおかワーク&ライフセミナー 今年は5講座を順次開催

2024ながおかワーク&ライフセミナーが2月20日の第1講座から3月2日の第5講座まで開催されました。このセミナーは、(公財)新潟ろうきん福祉財団の公益支出を主たる財源に、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現をめざし、毎年長岡地区労働者福祉協議会・長岡地区労福協が主催しています。今年も5講座を市民活動団体に企画運営を委託する形で開催しました。紙面の関係上、第4講座と第5講座の報告は次号に掲載します。(報告 長岡地区労福協・今井事務局長)

第1講座考えよう！「子どもの権利」 子どもたちが「日々大切に生きるために」

2月20日午後6時30分から、長岡市立劇場で2024ながおかワーク&ライフセミナー「子ども権利」がスタート。「子どもの権利」を開催し、30名が参加しました。第1講座は、「蔵王の杜プレイパーク」が主催。
講演の前に映画「学校の中のシマウマたち」を鑑賞。続いて能登半島地震被災地を支援している佐竹代表から、なかなか復興が進まない現状が報告され、継続して支援を続けることが必要と力説された。



次に新潟県立大学小池由佳先生から講演を受けました。冒頭、映画の感想を述べられ「今は育てる環境も色々あり、そのことを前提に子どものこ

とを考えていくこと」
「私は子ども福祉が専門で、子どもがどのように地域で暮らすのか」を研究している。福祉の反対は戦争で、戦争は子どもや高齢者、障がい者が犠牲になる。平和だから福祉がある。と強調。

1989年に国連は、「子どもの権利条約」を採択し、日本はようやく1994年に世界で191番目に批准し、昨年4月に「子ども基本法」を策定した。
この条約の権利条約一般原則は、次の4点。
1点目は「差別のないこと」
すべての子どもは、子ども自身や親の年齢、性別、意見、障がい、経済状況など、どんな理由でも差別されず、条約の定めるすべての権利が保障されています。

2点目は「子どもの最善の利益(子どもにとって最も良いこと)」「子どもに関することが行われる時は、その子どもにとって最も良いことを第一に考える」
3点目は、「命を守られ成長できること」「すべての子どもの命が守られ、もっ

先生は、4点目が日本の課題と指摘されました。今、新潟県も子ども条例の制定を目指し専門委員会等で論議しています。

講演終了後、蔵王の杜プレイパーク星野共同代表と小池先生のディスカッションを開催。会場参加者からも意見を受けて終了した。星野代表は、「中学生の子が子供を産まないという声が出ていることは、大人に笑顔がないせいだ。もつと子どもに寄り添ってほしい」と報告。

大人から子どもへの約束ごと、子どもは大人の心を見なくなる。子どもと大人が一緒に生きる社会をつくるため、子どもの権利条約のこれからの進捗を、おおいに注視していこうと考えています。

第2講座映画「あしたの少女」

2月22日(木)午後7時30分、アオーレ長岡で、第2講座、映画上映会「あしたの少女」を開催し、午後2時20分から1回目に91名、午後6時30分から2回目に62名が参加しました。

第2講座は、「長岡アジア映画祭実行委員会」が主催。
主催者を代表し、矢島長岡地区労福協会長は「韓国映画だが、こんな会社があるのかと目を疑う内容だ。心に突き刺さる作品。」



韓国では、労働組合が労働者の人権を守るために活発に活動しているが、現場実習生は労働者ともみならず、「死傷」

る内容で、社会的課題を浮き彫りにしている。私たちは、セミナーを通じて、安心して生活できる社会のため、様々な団体と手を結びながら、地域の中で我々の存在を知らせていく。「とあいつ」
この映画は、韓国の実話をもとに作られ、制度の犠牲となった女子高生を自殺から始まり、真相を解き明かす刑事との闘いが描かれる。実習生として働く環境と教育関係の闇が韓国社会に大きな影響を与えた作品。

第3講座ノウフクで運営する 「福祉市民体験農園Oasis」

2月24日午後1時30分からミライエ長岡ミライエステッで第3講座、ノウフクで運営する「福祉市民体験農園Oasis」を開催し、87名が参加しました。第3講座は、「特定非営利活動法人UNE」が主催。



矢島長岡地区労福協会のあいさつに続き、特定非営利活動法人UNEの紹介ビデオ上映、ノウフクで運営するOasis SRパネルディスカッション、休憩後、特定非営利活動法人UNE家老代表の「日本の農業の現状そして未来」、長岡中央総合病院高橋先生の「食べ物と腸内細菌」の2本の講演が行われました。

上映会 映画の力で法律を改正

となっていました。
「あしたの少女」は2023年3月に公開後、監督と観客との対話などを通してこの問題が共有化され、国会で実習基準法の改正が行われ、現場実習生の権利が侵害されないよう、業者側の責務を供する内容となり、この映画の監督の「次の犠牲者を出さない」思いが形とし、法律改正が行われました。

鑑賞後、「韓国社会の厳しい現実、学歴、親の資産・・それでも社会に出ると青少年の高い失業率。このしわ寄せはどこに現われるのだろうか?」
「この映画を通してその結果として法律改正が行われたのは良い。それに比べてわが日本は?言葉にするには必要だ。今の権力は私たちを見下し、好きなことをやっている。頑張らなければ!」「日本の若い労働者は正規、非正規に関わらず働く人たちが大切にされる労働運動が発展することを期待しています!」「このセミナーは素晴らしい!労働協約がやっているとは知りませんでした」等々感想をいただきました。
普通の高校生がなぜ自殺しなければならぬのか。どうして周囲の大人たちは救いの手を差し伸べなかったのか。この映画は、根本的な原因がどこにあるのかを追求し、真剣に対策を練らない限り、また同じ事件が起きることを警鐘しているのではないのでしょうか。

後半は、講演会を開催。最初に、特定非営利活動法人UNE家老代表の「日本の農業の現状そして未来」講演。農業だけでは食べられないこと、農業従事者の平均は約70歳という高齢者だ、農業は経験や知識が必要、昨今の円安による輸入農産物の高騰と量の激減、異常気象による農業継続の危機、自給率の低下など、農業を取り巻く環境は年々厳しくなっていることが報告されました。日本の農業政策の転換、見直しが喫緊の課題であるとし、ノウフクジョブを皆と一緒に行うことが報告されました。

次に、長岡中央総合病院高橋先生(皮膚科部長)から「食べ物と腸内細菌」と題し、腸を良くすれば肌も良くなる。日本の食がおかしい話をされた。体の不調の人は、①腸内細菌を活性化させること、②亜鉛欠乏症を治すこと、③ビタミンDを摂取することが重要で、4週間摂取すると体の改善効果が出ると報告されました。

高橋先生の話は、時間を忘れて皆さんが聞き入って、スライドを写真に撮っている方もおられ、大変役に立った話でした。今年も、ノウフクで運営するOasisRYイベントを行います。詳しくは、「れんごう中越地協」新聞やチラシなどお知らせします。皆さんの協力が必要です。ぜひ、ご参加を期待しています。

中越地協支部長 あいさつ

見附支部 支部長 坂爪 真也



新年あけましておめでとうございます。
まず、1月1日に発生した能登半島地震で被害にあわれました皆さんにお見舞い申し上げます。早くも復旧しますようお祈り申し上げます。
去年、新型コロナウイルスから類に移行し連合見附支部としまして、少しずつではありますがコロナ禍前の活動に戻りつつあります。今年も連合見附支部として活発に活動し飛躍していきたく思いますので、各産別単組には引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。
また、来年には参議院選挙が行われます。各産別単組ではすでに選挙の準備が始まっていると思います。労働者の処遇改善の為に、なんとしても候補者を国会に送り出さないとけません。組織力を強化し、ともに頑張りましょう。
結びに、今年一年組合員の皆様が多岐にわたりますようご祈念して新年のあいさつとさせていただきます。